

科学的理解を基盤とした問題解決学習による

探究的家庭科授業の開発

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（家庭）

中西 正善

本研究は、家庭科における問題解決学習を、科学的理解を基盤とした探究的学習として再構成することを目的とした。近年、家庭科には生活課題を主体的に捉え、科学的根拠に基づいて判断・実践する力の育成が求められているが、問題解決学習が形式化し、探究が調べ学習にとどまるという課題が指摘されている。

そこで本研究では、「うま味」「乳酸菌」「発酵と腐敗」を題材とした三つの授業実践を構成し、生徒の探究過程を分析した。特に「発酵と腐敗」の実践では、生徒の失敗経験を起点に、微生物の働きを条件制御の視点から捉え直す探究を展開した。その結果、生徒は感覚的判断から脱却し、科学的理解と他者との対話を往還しながら、生活や社会に結びつく価値判断を形成していた。本研究は、家庭科において科学的理解を探究の基盤として位置づけることで、問題解決学習が探究的学習として深化し得ることを示した。